

## 新規参入クラブの紹介 里山和楽会

代表 (生13) 道満 俊徳

この度、「NPO法人社会還元センターグループ」の環境部会に新規参入した「里山和楽会」の概要について紹介させていただきます。

### 里山和楽会経緯

平成19年3月、神鉄谷上駅の南、北区下谷上西丸山にある社会福祉法人かがやき神戸が管理する「かがやきの森 東地区」が、人手不足のため放置された里山林であることを知り、早速、生環13期生に呼びかけ、里山林整備のためのボランティアグループ「里山和楽会」を結成し、活動を開始することになった。

全員が里山林整備の手法も何もわからないままに、数ヶ月の学習・研修、現地での実践活動から、「里山とは何んぞや！」が少しは習得でき、私たちの指針となる当東地区の「里山林整備ランドデザイン」を策定して、本格的に取り組むことになった。

活動を進めるうちに、里山林の景観や四季折々の変化は、植物への関心や興味、知る楽しみを育てくれた。

さらに、この「東地区」周辺は、かつて生活に直結していた里山であり、その痕跡が随所に確認でき、“里山林は人と自然との共生の場であり、人が介入しなければ、即、放置林になる”ということも実体験できた。

今回、この小規模(約3ha)ながらも、また短期間であったが、里山林整備再生活動を通して、汗を出した作業後の喜び、人の和や地域交流の大切さを体感しています。また、地球が抱えている生物多様性保全の重要性をはじめ、様々な環境問題を学び、その保全に和楽会としての取り組みを続けています。



里山林整備作業

[前のページへ](#)

## 里山和楽会の活動

### ・定例活動日と時間

毎週月曜日に現地で里山林の管理作業。ただし、8月は果樹園の散水作業と各地の里山見学や学習にあてる。活動時間は9時～12時現場作業、昼食、13時～14時30分ミーティング(於地元の自治会館で)、ミーティングは、当日の活動や次週の計画について話し合い会員の情報共有の場とする。

### おわりに

私たちが取り組むこの里山林の整備再生活動は、継続と継承が何より大切であると考え、今後とも取り組んでいきます。

皆さん、一度トライアルに来られませんか、ご案内いたします。



観察木のデータ採取

## 神出自然教育園で田植えのサポート

八園会代表 (園8) 梅野 卓男

6月の活動の一つに小学校3年生と5年生の田植え体験補助がありました。

その時の会話で、5年生の女の子が「私、田舎に住んでいるけど田植えをするのは初めて・・・」というのです。

「どうして??」と質問したら、「お父さんが機械でみんなやってしまうから・・・」との答えでした。

「ああ、そうか・・・」と意味は分かったものの、田植えと稲刈りは家族総出の作業だと先入観があった身としては、時代の移り変わりと自分の年齢を感じたひと時でした。

・・・そして、今の子には「猫の手も借りたい」という言葉は通じないのかな・・・などとも思った次第です。



[次のページへ](#)